戦争法案は廃案に！
おおさか1万人大集会

7月18日 扇町公園

友の会会員さんも多数参加

日本のこれまでの在り方を大きく変える戦争法案（安保法制）が、7月16日に衆議院で強行採決された後の府民集会は、怒りの集会となりました。実に1万人を超える人が集まり声をあげたのです。

集会には、国会議員・弁護士・医師・ジャーナリストや青年など幅広い層がかけつけ、スピーチされました。

特に、絵本作家の長谷川義史さんはウクレレをもってユーモアを交えて安倍政権を批判。会場は大いに盛り上がりました。

集会でのカンパも何と145万円にもなったそうです。集会後3コースに分かれてパレード。同仁会からは職員や友の会会員さんなど80人を超える人が参加し「戦争法案今すぐ廃案」「安倍政権は今すぐ退陣」と力いっぱい声をあげながら歩きました。

今、審議は参議院へ移りますます法案の違憲性がうきぼりになってきています。国民だましの答弁の繰り返しで、今や安倍内閣の支持率は35%。支持しないは51%になっています。

まだ法案が成立もしていないのに、海上自衛隊や陸上自衛隊の資料には、米軍と一体となった武力行使の計画が、すでに書き込まれているという実態も暴露されました。陸上自衛隊の資料では、「後方支援」とは「兵站」活動のことで、「出来る限り前方で…」「戦闘力を維持し増進して作戦を支援する」などと武力行使と一体不可分の軍事行動だと書かれていること、海自のヘリ空母の上で、米軍のヘリに燃料補給をする支援行動の計画や防衛省統合幕僚監部資料では、法案成立を8月と想定し、来年2月から施行を明記しているなど、とんでもない実態に、国民の中から怒りと不安が噴出しています。

今こそ「戦争法案絶対反対！」の声を広げに広げて、必ず廃案に追い込みましょう。

平和会健康友の会（奈良）と交流

ワンコイン事業やたまり場に注目

7月31日、渋谷会長はじめ共同組織の役員さん18人が、新病院見学を含めて交流に来られました。東西支部と大浜支部のたまり場を見てすぐ交流の予定が、いろんな質問が出て、たまり場からの集合が遅れる場面もありました。午前中は、みみはらの代表世話人と2つに分かれて交流会。話題の大半は「ワンコイン事業」と「たまり場」に集中しました。

平和会は共同組織13、000世帯、1病院6診療所と介護施設は福祉法人を作り特養などがあります。会費は年会費1000円で毎年徴収しています。機関紙は年4回の季刊で手配りのみ。財政が厳しいことと、事業所が離れているなど、みみはらと異なる困難もだされていました。

午後からは、みみはらの世話人と一緒に新病院を見学しました。綺麗さだけでなく、待合室の椅子の高さを立ち上がりやすいように、4段階高さを変えているなど、患者さん目線で作った設備などに関心が集まっていました。

平和会との交流会

介護の現場から ⑥

耳原デイサービスセンター
ともうず泉北
介護福祉士
吉永　憲

自分の意思を貫かれた姿勢に頭が下がる思い

88歳のAさんはがんの末期で、余命幾ばくもない状態でした。

しかし気丈なAさんは、家事の一切をご自分でされないと、気のすまない方でした。決して体力のある状態ではないのに、台所のガスレンジはピカピカに磨かれ、洗濯も掃除も徹底されていました。

頑張って自宅で生活されていたAさんですが、転倒が増え、自宅での入浴に不安が出て来られたので、当デイをご利用いただくことになりました。デイに来られると入浴を大変喜ばれ、食事も「自宅では一人やからほとんど食べへんけど、デイやとみんながいるからつい食べてしまう」と笑顔が見られていました。

そんな中、下痢の症状が見られ、がんによる痛みも強くなったことから、緩和ケア病棟に入院されました。入院されると痛みのコントロールが上手くいき、体調も良くなったことから自宅に帰ることが出来ました。

自宅に帰ると家事の援助にヘルパーを利用され、病状の管理で訪問看護を導入し、デイサービスも回数を増やして、Aさんの自宅での生活を援助させていただきました。それから約1か月自宅で生活され、曾孫さんのお顔を見ることを目標にされていましたが、曾孫さんが生まれた翌日に、最期を迎えられました。

結局、曾孫さんのお顔を見ることは叶いませんでしたが、がんに負けず住み慣れた自宅での生活を望まれ、ご自分の意思を貫かれたAさんの姿勢に、頭が下がる思いです。

お便り

会員さんから「とも」に届いたお便りを紹介します。

勇気づけられます

高石市加茂　永見富紀子（64歳）

会員さん紹介を拝見して、お年を召していらっしゃっても、趣味を持って輝いて生活しておられることに、勇気づけられます。

請願署名を見かけたら

北区野遠町　並﨑修子（65歳）

今回の現場からの視点で、技工士さんの現状を知り自分たちが安心して良い医療を受けられるように、微力ながら請願署名を見かけたら協力させてもらおうと思います。勉強になりました。

私でもできる

北区蔵前町　堀江陽子（63歳）

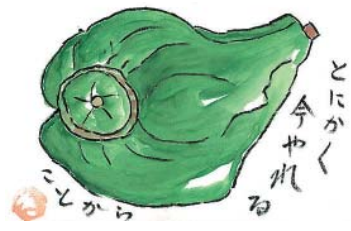
アベ政権の暴挙をストップするにはデモや集会に参加して市民の声を大きくすること。これは一つだけどこれなら私でもできる。

高野　純

解けない月もあります

西区浜寺石津町　川向恵美子（86歳）

頭の運動、ボケ防止にと思い毎月送ってきてくれた「とも」を楽しみに、クイズも解いています。完全にクイズが解ける月もあれば解けない月もあります。今月は全部解けました。嬉しいです。



高原　君子

やっぱり大阪人

大阪市阿倍野区　永井由美子（73歳）

外出する機会の少ない利用者さんと、老健のバスで大型スーパーでの食事会へ。迷った末に全員がたこ焼きがいいと。やっぱり大阪人でした。

病気をしなくなりました

高石市加茂　田中ゆうな（11歳）

このごろ病気をしなくなりました。あまり病院に行っていません。なのでインフルエンザの注射に行きます。